

広島女学院 第3次中期目標(2023～2027) 行動計画及び数値目標【大学】

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	1. 教育理念の実現および「伝える力」の育成	①「伝える力」の育成に向けたカリキュラム改善	教務課	1-1	「ライフキャリアデザイン I～VII」(必修)を2024年度の開講に向けて準備する。	「ライフキャリアデザイン」シラバス(7セメスター)作成状況	5点：7つ 4点：6つ 3点：5つ 2点：4つ 1点：3つ以下	2
					1-2	キャリアプランニング担当者の情報交換の場を設定するなどして、伝える力に関する肯定的回答を増加させる。	「キャリアプランニング」の授業評価アンケートの「伝える力」の肯定的回答率	5点：90%以上 4点：85-90%未満 3点：80-85%未満 2点：75-80%未満 1点：75%未満	4
					1-3	組織編成後も基礎科目、ライフキャリア科目に関して話し合える体制を整える。	基礎科目、ライフキャリア科目についての協議回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	2
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	1. 教育理念の実現および「伝える力」の育成	②「伝える力」育成のための授業改善(アクティブラーニング、ICT教育の充実化)	教務課(学務委員会)	2-1	シラバス説明会(FD研修会)に全教員が参加し、シラバス作成方法や授業改善に取り組む。	1月のFD研修会(シラバス説明会)の参加率。(全教員中何割か)	5点：100% 4点：90%～99% 3点：80%～89% 2点：70%～79% 1点：70%未満	3
					2-2	全15回の授業中でどの程度取り組んでいるか年度途中で状況調査をおこない、改善する必要がある場合は担当教員へ連絡し、次年度への改善を促す。	シラバス内容調査の完了学科数。	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	1
					2-3	各教員における授業の実施方法を見直していくための研修について、年間1以上の学外研修を受ける(オンライン講座を含む)。	授業実施方法やスキルアップ等の研修について1回以上受けた教員の割合。(全教員中何割か)	5点：90%以上 4点：80%～89% 3点：70%～79% 2点：50%～69% 1点：50%未満	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	1. 教育理念の実現および「伝える力」の育成	②「伝える力」育成のための授業改善	学長室(情報)、教務課	3-1	アクティブラーニングに適した教室に関する意見を多方面から収集し、反映させる。	意見収集数	5点：28件以上 4点：18-23件 3点：13-18件 2点：8-13件 1点：8件未満	1
					3-2	FDと連携し、アクティブラーニング研修参加を促すことで、教員のアクティブラーニングに対する理解を深める。	研修会後アンケート(アクティブラーニング導入可能と回答した教員数)	5点：48名以上 4点：43-48名未満 3点：38-43名未満 2点：33-38名未満 1点：33名未満	-
					3-3	アクティブラーニングを取り入れた授業を増やす。	シラバス(アクティブラーニング導入)	5点：80%以上 4点：70-80%未満 3点：60-70%未満 2点：50-60%未満 1点：50%未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	1. 教育理念の 実現および「伝え る力」の育成	③伝える力育成の ための学生ポート フォリオの活用	教務課	4-1	学務委員から学生ポートフォリオを使った面談を徹底する。	学生ポートフォリオを用いた全学生のチューター面談実施率（振り返りと指導）	5点：40%以上 4点：38-40%未満 3点：36-38%未満 2点：34-36%未満 1点：34%未満	—
					4-2	ポータルサイトの連絡の他、オリエンテーションでの周知をし、チューターと連携を取るなど、未入力者へ入力を促す。	学生のポートフォリオの入力率	5点：100% 4点：98-100%未満 3点：95-98%未満 2点：92-95%未満 1点：92%未満	1
					4-3	職員の1年生面談においてもポートフォリオを用い、新入生から確認する習慣を促す。	1年生面談での活用率	5点：95%以上 4点：92-95%未満 3点：89-92%未満 2点：87-89%未満 1点：87%未満	5
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	①一人ひとりにあっ た課外学修支援の 充実化	教務課	5-1	補講対象者への連絡体制を強化する。	補習全体の受講割合（対補習対象者）	5点：60%以上 4点：58-60%未満 3点：56-58%未満 2点：54-56%未満 1点：54%未満	1
					5-2	学科担当者（職員）が履修指導の際、補講対象者に受講を促す。	学科の指導状況 ※補講対象者がいない場合は指導済みとする。	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	5
					5-3	基礎科目担当者と連携し、学生のフォローアップ体制を整える。	担当者との協議回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	2
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	①一人ひとりにあっ た課外学修支援の 充実化	ASC	6-1	チューターと連携しつつASCの案内をするほか、1年生面談でも呼びかける。	新規利用者の実数	5点：25名以上 4点：20-25 3点：15-20 2点：10-15 1点：10人未満	5
					6-2	学生にとって興味のある内容を把握し、ニーズに合わせた講座を開講する。	受講後アンケート(満足度)の最高位の平均回答率	5点：60%以上 4点：50-60%未満 3点：40-50%未満 2点：30-40%未満 1点：30%未満	5
					6-3	学科教員にレポート・論文指導、ICT機器の利用等で学生へのサポート状況を確認し、チューター面談でサポートが必要な学生に対しASCの利用を促すなど連携体制を強化する。	生活デザイン学科および児童教育学科の個別相談年間利用件数	5点：70件以上 4点：60-70件未満 3点：50-60件未満 2点：40-50件未満 1点：40件未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	研究支援・社 会連携セン ター	7-1	ポータルサイトや課長会議等で呼びかけを行い調査回 答率を100%にする。	調査回答率	5点：90%以上 4点：70%以上 3点：50%以上 2点：35%以上 1点：35%未満	—
					7-2	データベースを共有し、活動に対して消極的な教員の敷 居を低くすることで、2023年度の教員の活動率を40% 以上にする。	教員の活動率	5点：50%以上 4点：45%以上 3点：40%以上 2点：35%以上 1点：35%未満	4
					7-3	社会連携に興味を持つ職員に絞って呼びかけ、職員の 活動(協働)率を10%以上にする。	職員の活動率	5点：40%以上 4点：30%以上 3点：20%以上 2点：10%以上 1点：10%未満	2
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	学生課	8-1	在籍中の外国人学生に「アジアクラブ」を紹介し5名が 入部し、部長が決まる。	入部した部員数	5点：5名以上 4点：4名 3点：3名 2点：2名 1点：1名以下	1
					8-2	オリエンテーション期間中に勧誘活動をして部員が10名 以上になる。	部員数（総数）	5点：10名以上 4点：8名以上 3点：6名以上 2点：5名 1点：5名未満	1
					8-3	4月中旬に歓迎会を実施し、新入留学生が加入する。	歓迎会に参加した新入留学生 数	5点：100% 4点：80%以上 3点：60%以上 2点：50%以上 1点：50%未満	1
					8-4	自治会開催の学生交流イベントに参加する。	イベントへの参加学生数	5点：5名以上 4点：4名 3点：3名 2点：2名 1点：1名以下	3
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	2. 小規模大学 ならではの学生支 援の実現	②学生の成長の場 および居場所づくり としての学内活動、 学修活動の活性 化	ASC	9-1	学生サポーターの実施内容を策定し、募集をする。	学生サポーター人数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人未満	5
					9-2	入学式や学期始め等に相談スペースを設置する。	実施回数（日数）	5点：5日以上 4点：4日 3点：3日 2点：2日 1点：1日以下	4

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					9-3	ノートテイクの募集回数を増やし、登録者を増やす。	ノートテイクの新規登録者数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人未満	1
					9-4	ノートテイク説明会（講習会）を充実させる	説明会または講習会の年間実施回数（オンデマンド動画作成の場合は+3点とする）	5点：5回 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	②学生の成長の場および居場所づくりとしての学内活動、学修活動の活性化	図書課	10-1	「初年次セミナー」での図書館ガイダンスで課題を課す。	ガイダンス実施後に図書館を利用して行う課題の提出率	5点：100% 4点：80-100%未満 3点：60-80%未満 2点：40-60%未満 1点：40%未満	2
					10-2	教員と連携して課題図書の実施を図る。	課題図書実施教員の人数	5点：10名以上 4点：8-10名未満 3点：6-8名未満 2点：4-6名未満 1点：4名未満	4
					10-3	図書館で貸出冊数の増加を目的としたイベントを実施する。	図書の貸出冊数の増加割合（2022年度比）	5点：10%以上 4点：8-10%未満 3点：6-8%未満 2点：4-6%未満 1点：4%未満	5
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	②学生の成長の場および居場所づくりとしての学内活動、学修活動の活性化	宗教センター	11-1	チャペル委員の業務がある日は案内をポータルに上げる。	掲載回数	5点：15回 4点：12回以上 3点：10回以上 2点：8回以上 1点：7回以下	1
					11-2	チャペル委員ガイダンスで改めて仕事内容を提示し、「キリスト教の時間」へは全員から2回以上エントリーをさせる。	2回以上の署名率	5点：90%以上 4点：81-90%未満 3点：71-80%未満 2点：61-70%未満 1点：60%以下	5
					11-3	「キリスト教の時間」への協力者の来場率を上げる。	その学期の来場率	5点：90%以上 4点：81-90%未満 3点：71-80%未満 2点：61-70%未満 1点：60%以下	2
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	③安心して学ぶための相談体制づくり	ASC	12-1	LAと連携しながら、より学生の要望に合わせた指導を行っていく。	LAによる個別学修相談への満足度（「満足」と回答した割合）	5点：90%以上 4点：87-90%未満 3点：84-87%未満 2点：81-84%未満 1点：81%未満	3

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画			事業報告	
					NO	行動目標	評価指標		評価基準
【Vision 1】 教育・研究					12-2	掲示回数など学生に周知する機会を増やし、個別学修相談の認知度を向上させる。	個別学修相談の年間利用件数 (延べ数)	5点：500件以上 4点：480-500件未満 3点：460-480件未満 2点：440-460件未満 1点：440件未満	1
					12-3	個別学修相談の利用者に対し、学修状況の確認等をし、フォローアップすることで利用しやすい環境を創る。	リピーター率	5点：34%以上 4点：31-34%未満 3点：28-31%未満 2点：25-28%未満 1点：25%未満	5
	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	③安心して学ぶための相談体制づくり	障がい学生高等教育支援室	13-1	教務課と連携を取りながら、参加すべき研修等がある場合は教務から派遣してもらうなどして参加できる体制を整える。	全国組織の主催する研修会や説明会への参加回数。	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	5
					13-2	授業を除く学内行事を担当する部署に対して合理的配慮の提供を依頼し、教職員の認識を高める。	授業を除く学内行事を担当する部署に対して依頼した、合理的配慮の提供の回数。	5点：20回以上 4点：16-20回未満 3点：11-15回未満 2点：5-10回未満 1点：5回未満	5
					13-3	学内バリアフリー化に向け、2カ月に1度関係者と打ち合わせを行い、計画を策定する。	学内バリアフリー化に関する打ち合わせ回数。	5点：6回以上 4点：5回 3点：4回 2点：3回 1点：2回以下	3
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子大学の特色を活かしたライフキャリア教育の実現	2. 小規模大学ならではの学生支援の実現	③安心して学ぶための相談体制づくり	学生課（健康管理センター、カウンセリングルーム）	14-1	要フォロー者リストを作成し、入力ができる。	リストの入力率 (健康相談者数は別途入力実施中)	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20未満	5
					14-2	要フォロー者の次回フォローアップ予定日(時期)を決定しリスト入力できる。	次回フォローアップ予定日(時期)のリスト内入力率	5点：81~100% 4点：61~80% 3点：41~60% 2点：21~40% 1点：21%未満	5
					14-3	フォローアップ予定日(時期)にメールや電話で連絡をする。	予定日(時期)フォローアップ率	5点：41~50% 4点：31~40% 3点：21~30% 2点：11~20% 1点：11%未満	5
					14-4	スクリーニングテストの呼び出し面接で心配があるが継続面接にならなかった者、反応のなかった者へ後期に再度声掛けを行う。	対象者へのフォロー（声掛け）の実施割合	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20未満	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	3. 地域社会に貢 献する研究活動の 推進	①研究活動の支 援	研究支援・社 会連携セン ター	15-1	科研費の応募数を増加させる。	応募件数	5点：25件以上 4点：20件以上 3点：15件以上 2点：10件以上 1点：10件未満	2
					15-2	各種団体の研究助成応募数を増加させる。	応募件数	5点：5件 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件	1
					15-3	科研費獲得のための説明会（セミナー）を実施する。	参加率	5点：80%以上 4点：70%以上 3点：60%以上 2点：50%以上 1点：50%未満	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	4. 国際化の推 進	①国際的に認知さ れるカリキュラム編 成、それに伴う教育 力と運営システムを 整備	入試・広報課	16-1	日本語学校へ訪問する。	日本語学校への訪問回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	3
					16-2	日本語学校教員に対し、奨学金制度などを詳細に説 明する等して、来校促進につなげる。	日本語学校からの来校回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	4. 国際化の推 進	①国際的に認知さ れるカリキュラム編 成、それに伴う教育 力と運営システムを 整備	国際交流セン ター	17-1	相手校のカリキュラムを確認し、単位互換案を試作。	単位互換案作成状況	5点：できた 4点： 3点： 2点： 1点：できなかった	1
					17-2	入試課と打ち合わせ、秋学期入学対応の準備をし、学 則を変更することで秋学期入学が可能となる。	学則の完成状況	5点：できた 4点： 3点： 2点： 1点：できなかった	5
					17-3	相手校と打ち合わせ、ダブルディグリーの協定を結ぶ。	協定締結状況	5点：できた 4点： 3点： 2点： 1点：できなかった	1
【Vision 1】 教育・研究	●小規模の女子 大学の特色を活か したライフキャリア教 育の実現	4. 国際化の推 進	②全学部学科に 海外研修プログラム を置き、学生の海 外研修の機会を拡 大	国際交流セン ター	18-1	プログラムの費用やメリット、不利益のリスト化	リストの作成状況（全体比）	5点：100% 4点：80-100%未満 3点：60-80%未満 2点：40-60%未満 1点：40%未満	2

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画			事業報告	
					NO	行動目標	評価指標		評価基準
					18-2	海外研修プログラムを持たない学科に対しGOプログラムの試算	海外研修プログラムを持たない学科に対してのプログラム提案数	5点：6件以上 4点：5件 3点：4件 2点：3件 1点：2件以下	1
					18-3	プログラム募集要項への反映、募集開始	GOプログラム希望者数	5点：5名以上 4点：4名 3点：3名 2点：2名 1点：1名以下	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	1. 地域社会と学生を結びつける機会の強化	①地方公共団体や企業、市民団体、教育機関との提携や共同活動の強化および新規開拓	キャリア支援課 研究支援・社会連携センター	19-1	業界団体のリサーチ	業界団体の実態把握数	5点：10団体以上 4点：8～9団体 3点：6～7団体 2点：4～5団体 1点：3団体以下	1
					19-2	業界団体へのアプローチ	窓口（紹介者）のコネクション数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件	1
					19-3	教員への活動調査を徹底し、把握した未締結の活動は締結を進める。	締結件数	5点：5件以上 4点：4件以上 3点：3件以上 2点：2件以上 1点：1件以上	4
					19-4	すでに「協定書」等があるが、活動実態がないものを見直す。	見直し件数	5点：5件以上 4点：4件以上 3点：3件以上 2点：2件以上 1点：1件以上	5
					19-5	新しい連携先を開拓する。	連携打診件数	5点：5件以上 4点：4件以上 3点：3件以上 2点：2件以上 1点：1件以上	4
					20-1	学生が本学ポートフォリオの「活動記録」を入力する意義を啓発する。	1年生の「活動記録」認知率	5点：90%以上 4点：80%以上 3点：70%以上 2点：60%以上 1点：60%未満	4
					20-2	学科・教員個人との連携を図る。	学生主体の活動の割合	5点：90%以上 4点：80%以上 3点：70%以上 2点：60%以上 1点：60%未満	-

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画			事業報告	
					NO	行動目標	評価指標		評価基準
					20-3	センターが把握するボランティア活動も学生主体(発案)の活動への転換を図る。	ボランティアの活動実績数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：1件以下	5
					20-4	教務課・学生課・キャリア支援課との連携を図る。	打合せ回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	1. 地域社会と学生を結びつける機会の強化	②提携機関との相互交流を通じた教育効果の促進	キャリア支援課	21-1	国際英語学科2年次CSPで学外へリサーチに行く。	授業評価アンケート「成長実感」の肯定的回答の割合	5点：100% 4点：90%～99% 3点：80%～89% 2点：70%～79% 1点：60%～69%	3
					21-2	人文学部2年次CSPとして発表を行う。	企業の受け入れ満足度	5点：95%以上 4点：85-95%未満 3点：75-85%未満 2点：65-75%未満 1点：65%未満	3
					21-3	各学科の地域連携科目の把握	キャリア支援委員と各学科の科目についてヒアリング	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	2. 学生の成長を見据えた地域活動の質的向上	①教職員、学生の連携した活動の促進	研究支援・社会連携センター	22-1	学内コンペに6以上の学生グループが応募する。	応募グループ数	5点：10グループ以上 4点：9グループ 3点：8グループ 2点：7グループ 1点：6グループ以下	1
					22-2	コンペに参加した学生が成長実感・満足度を得る。	参加学生の満足度の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	1
					22-3	学内評価者にコンペの内容を評価してもらう。	学内評価者のコンペ評価の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	1
					22-4	企業・団体・自治体・協力会等に評価(講評含む)を依頼する。	外部評価者のコンペ評価の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					22-5	外部の活動発表会に学生を派遣する。	派遣学生の満足度の平均	5点：3.7点以上 4点：3.0-3.7点未満 3点：2.3-3.0点未満 2点：1.6-2.3点未満 1点：1.6点未満	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	2. 学生の成長を見据えた地域活動の質的向上	②学生支援を目的とした教職員のスキルの強化	研究支援・社会連携センター	23-1	地域連携・ボランティアコーディネーター資格(講座修了)取得(3名)	取得者人数	5点：5名以上 4点：4名 3点：3名 2点：2名 1点：1名以下	1
					23-2	社会連携・ボランティアがテーマの研修・セミナーの受講回数(3名合計)	延べ受講回数	5点：30回以上 4点：25-30回未満 3点：20-25回未満 2点：15-20回未満 1点：15回未満	1
					23-3	学内への研修会・セミナー情報提供と受講の促進	全教職員への配信回数	5点：6回以上 4点：5回 3点：4回 2点：3回 1点：3回未満	2
					23-4	受講内容の共有（学びの共有と活動への反映）	課内研修会の実施回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	2. 学生の成長を見据えた地域活動の質的向上	②学生支援を目的とした教職員のスキルの強化	人事課	24-1	研修派遣計画の作成	研修参加者の目標達成度の平均(研修会後アンケートの理解度の項目を点数化し算出)	5点：4.5以上 4点：4.0-4.5未満 3点：3.5-4.0未満 2点：3.0-3.5未満 1点：3.0未満	4
					24-2	研修後のフィードバック報告会の実施	報告会の参加率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	5
					24-3	研修に関する振り返りアンケート実施	アンケート回収率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	5
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	3. 社会への人材輩出に向けたキャリア教育の強化	①在学生および卒業生、企業からの情報を分析、活用したキャリア支援の推進	キャリア支援課	25-1	学内にOGをお招きする機会を把握する	キャリア支援委員と各学科の科目についてヒアリング	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					25-2	OGを囲む会実施に向けて企業への依頼	OGを囲む会の実施回数	5点：10回以上 4点：8～9回 3点：6～7回 2点：4～5回 1点：3回以下	2
					25-3	OGへのリスニング内容の作成	各学科のOGへのヒアリング	5点：5学科 4点：4学科 3点：3学科 2点：2学科 1点：1学科以下	1
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	3. 社会への人材輩出に向けたキャリア教育の強化	②就業観や職業観を段階的に植え付けるキャリア支援プログラムの強化	キャリア支援課	26-1	2年次からガイダンス及びセミナー実施	ガイダンス実施回数	5点：7回以上 4点：6回 3点：5回 2点：4回 1点：3回以下	4
					26-2	2024年度からのライフキャリアデザイン内で何ができるか検討する	実施案の件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：2件未満	5
					26-3	2024年度からのライフキャリアデザインを踏まえての在学中のセミナー及びガイダンスを検討する。	4年間の計画	5点：4年間 4点：3年間 3点：2年間 2点：1年間 1点：半期	—
【Vision 2】 地域連携・社会貢献	●社会で活躍する人材づくりを念頭に置いた地域における教育活動の展開	3. 社会への人材輩出に向けたキャリア教育の強化	③正課教育と連携した社会人基礎力を高める協働的取り組みの推進	キャリア支援課 教務課	27-1	国際英語学科2年次CSPで連携する企業と教員の接点を提供	接点の回数	5点：反省会を含む3回 4点：事前・事後の2回 3点：事前又は事後の1回 2点：連携企業が報告会参加 1点：連携企業からのアンケートのみ	5
					27-2	企業アンケートの実施	アンケート件数	5点：100社以上 4点：90社～99社 3点：80社～89社 2点：70社～79社 1点：69社以下	5
					27-3	企業アンケート結果の分析及び評価	アンケート結果分析・共有・課題解決の進捗状況	5点：課題解決への方策が決定 4点：改善提案 3点：課題発見 2点：評価 1点：分析を行う	—
					27-4	「ライフキャリアデザイン」科目の4年間概要決定	シラバスの作成	5点：7セメスター 4点：5-6セメスター 3点：3-4セメスター 2点：2セメスター 1点：1セメスター	3

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画			事業報告	
					NO	行動目標	評価指標		評価基準
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学 者数の増加	1. 入学定員の 確保	①入学者数増加 に向けた入試戦略 の確立並びに学生 募集体制の見直し	入試・広報課	28-1	高校訪問戦略を見直し、改善を図る。	入学者数	5点：250名以上 4点：225-250名未満 3点：200-225名未満 2点：175-200名未満 1点：175名未満	1
					28-2	分析を行い来場者へのフォローなどイベント参加への促進を図る。	OCリピーター数	5点：150以上 4点：125-150名未満 3点：100-125名未満 2点：75-100名未満 1点：75名未満	3
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学 者数の増加	2. アドミッション・ ポリシーに基づく入 試制度改革	①総合的な資質を 評価するための入 試制度への改変	入試・広報課	29-1	総合型選抜、学校推薦型選抜の入学者数を200名以上にする。	総合型選抜、学校推薦型選抜の入学者数	5点：200名以上 4点：190～199名 3点：180～190名 2点：165～179名 1点：150～164名	1
					29-2	総合型選抜の入学者数を110名以上にする。	総合型選抜の入学者数	5点：110以上 4点：100～119名 3点：100～109名 2点：90～99名 1点：80～89名	1
					29-3	学校推薦型選抜の入学者数を90名以上とする。	学校推薦型選抜の入学者数	5点：110以上 4点：100～119名 3点：100～109名 2点：90～99名 1点：80～89名	1
					29-4	Online型オープンセミナーの受講者を30名以上に する。	Online型オープンセミナーの受講 者数	5点：30名以上 4点：25～29名 3点：20～24名 2点：15～19名 1点：～14名	4
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学 者数の増加	2. アドミッション・ ポリシーに基づく入 試制度改革	②全学的な入学 者選抜の実施・評 価体制の構築と強 化	入試・広報課	30-1	APIに基づく科目の配点の適正化	入試制度数（全7制度）	5点：7以上 4点：5,6 3点：3,4 2点：2 1点：1以下	1
					30-2	入学者の入試得点データと教学データベースの連動	データリンクが終了した入学 者割合	5点：100% 4点：85～99% 3点：70～85% 2点：55～70% 1点：40～55%	3
					30-3	APIに基づく資質の入試得点データと入学後の教学デ ータの連動	資質の入試データリンクが終了 した入学生の割合	5点：60%以上 4点：55～59% 3点：50～55% 2点：45～50% 1点：40～45%	5

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画			事業報告	
					NO	行動目標	評価指標		評価基準
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学 者数の増加	3. 本学の大学 教育の特色の定 着に向けた広報の 推進	①多様なニーズに 即した情報発信の 推進	入試・広報課	31-1	月間新規ユーザー数の増加	月間新規ユーザー数	5点：18,000以上 4点：17,000-18,000未満 3点：16,000-17,000未満 2点：15,000-16,000未満 1点：15,000以下	5
					31-2	オンライン広告の充実を図る。	ウェブサイトの年間新規ユーザー 数	5点：22万以上 4点：18-22万未満 3点：14-18万未満 2点：10-14万未満 1点：10万未満	5
					31-3	OCの案内などターゲットに合わせてSNS等で情報発信 を行う。	OC来場者数	5点：450名以上 4点：400-450名未満 3点：350-400名未満 2点：300-350名未満 1点：300名未満	5
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制 度改革による入学 者数の増加	3. 本学の大学 教育の特色の定 着に向けた広報の 推進	②自らの成長・将 来を想像させる広 報素材の獲得と発 信	入試・広報課	32-1	プレスリリース配信数増加	プレスリリース配信本数	5点：20本以上 4点：18、19本 3点：17本 2点：16本 1点：15本以下	1
					32-2	ウェブサイトからの情報発信増加	掲載記事本数	5点：110本以上 4点：105-110本未満 3点：100-105本未満 2点：95-100本未満 1点：95本以下	1
					32-3	SNS投稿記事本数の増加	投稿記事本数	5点：240本以上 4点：230-240本未満 3点：220-230本未満 2点：210-220本未満 1点：210本未満	5
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制 度改革による入学 者数の増加	3. 本学の大学 教育の特色の定 着に向けた広報の 推進	③広報戦略および 情報の全学的な浸 透	入試・広報課	33-1	ガイダンスを実施し、教職員全員で広報に取り組める体 制を作る。	教職員のガイダンス出席率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	1
					33-2	OC等の説明会にて、大学としての方向性を教職員に共 有する。	OC説明会参加率	5点：95%以上 4点：90-95%未満 3点：85-90%未満 2点：80-85%未満 1点：80%未満	1
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制 度改革による入学 者数の増加	4. 多彩な高大 連携の取り組みの 企画・実施	①高大連携の枠 組みの拡大	入試・広報課	34-1	独自の高大連携講座を増加する。	高大連携講座の実施回数	5点：23以上 4点：22 3点：21 2点：20 1点：19以下	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					34-2	高校のニーズを把握し、協力してもらえる高校を増やす。	高大連携実施校	5点：5校 4点：4校 3点：3校 2点：2校 1点：1校以下	5
					34-3	職員も積極的に関与しながら、高大連携講座の内容を見直し、受講者を増やす。	高大連携講座参加者数	5点：30名以上 4点：28-30名未満 3点：26-28名未満 2点：24-26名未満 1点：24名未満	5
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	4. 多彩な高大連携の取り組みの企画・実施	②大学と高校の相互教育の場の構築	入試・広報課	35-1	年12回以上の高大連携事業を実施。	高大連携事業の実施回数	5点：12回以上 4点：10-12未満 3点：8-10未満 2点：6-8未満 1点：6未満	2
					35-2	OSの内容を見直す。	OS受講者数	5点：50名以上 4点：45-50名未満 3点：40-45名未満 2点：35-40名未満 1点：35名未満	1
【Vision 3】 学生募集	●入試戦略の見直し並びに入試制度改革による入学者数の増加	4. 多彩な高大連携の取り組みの企画・実施	③人材育成に向けた協働の場の構築	入試・広報課	36-1	入試募集に関する研修実施	研修実施回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：1回以下	1
					36-2	学内で入試の知識を共有する講演の内容を見直す。	講演後アンケートの理解度の肯定的回答	5点：95%以上 4点：92-95%未満 3点：89-92%未満 2点：87-89%未満 1点：87%未満	-
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化及び組織基盤の強化	1. 人事方針の明確化ならびに戦略的な人材育成・人材活用の促進	①「キリスト教精神」キリスト教的価値観を共有、信頼関係に基づく組織運営の実施	宗教センター 人事課	37-1	新任オリエンテーションで「キリスト教の時間」のうち出席する回を指定する。	指定した回の新任者の出席者数	5点：5名以上 4点：4名 3点：3名 2点：2名 1点：1名以下	3
					37-2	全教職員に「キリスト教の時間」への出席を各学期4回義務づけ、出席カードを提出させる。	出席者数（1回につき）	5点：20人以上 4点：15人以上 3点：10人以上 2点：8人以上 1点：7人以下	4
					37-3	「キリスト教の時間」「木曜日チャペル」の出席を教授会や課長会議で奨励	出席率	5点：90%以上 4点：81-90%未満 3点：71-80%未満 2点：61-70%未満 1点：60%以下	1

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	1. 人事方針の 明確化ならびに戦 略的な人材育成・ 人材活用の促進	②教職員の活性 化・資質の向上を 図り本学の教育 力・組織力の強化 を目指す	人事課	38-1	課長会議などで協力を依頼し、受入部署を増やす	受入部署数	5点：8部署以上 4点：7部署 3点：6部署 2点：5部署 1点：4部署以下	1
					38-2	受け入れ時期を検討することで、参加人数を5人以上とする	参加者数	5点：5人 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人以下	1
					38-3	職場内インターンシップ趣旨について対面またはオンラインで説明会を実施する	説明会参加者数	5点：10名以上 4点：8,9名 3点：6,7名 2点：4,5名 1点：3名以下	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	1. 人事方針の 明確化ならびに戦 略的な人材育成・ 人材活用の促進	②教職員の活性 化・資質の向上を 図り本学の教育 力・組織力の強化 を目指す	FD委員会	39-1	ティーチングポートフォリオを作成する	ティーチングポートフォリオを作成した教員数	5点：95%以上 4点：90～94% 3点：85～89% 2点：80～84% 1点：80%未満	5
					39-2	ティーチングポートフォリオの活用に関わる研修会を実施する	授業改善目標をティーチングポートフォリオに取り入れた教員数	5点：95%以上 4点：90～94% 3点：85～89% 2点：80～84% 1点：80%未満	5
					39-3	教員の満足度の高いFD研修会を実施する	FD研修会の教員満足度75%を超えた研修会の回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	4
					39-4	年度当初に研修計画の提示し、メールや教授会で研修会の参加を呼びかける	FD研修会への教員参加率が90%を超えた研修会の回数	5点：5回以上 4点：4回 3点：3回 2点：2回 1点：2回未満	1
					39-5	学外でのFD研修会の活用の奨励	学外のFD研修参加実数	5点：10人以上 4点：9人 3点：8人 2点：7人 1点：6名未満	5
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強 化	2. 本学独自のガ バナンス強化体制 の確立	①学長を中心とす る組織部署の適切 性を検証し、大学 全体のガバナンス の在り方を維持できる 体制を整備	学長室	40-1	大学に関するガバナンス・コードの実施項目の内、「2-1」「2-2」から6個達成するよう取り組む	達成率	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20%未満	4

中期ビジョン no	中期ビジョン	重点目標	行動計画	担当部署	2023年度 事業計画				事業報告
					NO	行動目標	評価指標	評価基準	
					40-2	大学の役職者に関する権限を明確化し、組織体制を強化するよう学長室に係る規程の内、80%以上を整備する	学長室に係る規程整備割合	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20%未満	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	2. 本学独自のガ バナンス強化体制 の確立	②自然災害等の 有事の体制を想定 し、複雑化する危 機管理の徹底を図 る	総務課	41-1	危機管理室を構築し、災害発生時のフローを検討する	危機管理室の検討・立ち上げ	5点：教職員に共有 4点：災害発生時のフロー決定 3点：災害発生時のフロー検討 2点：危機管理室の立ち上げ 1点：危機管理室の検討	2
					41-2	教職員安否確認システムの導入する	教職員安否確認システムの検 討・導入	5点：安否確認システムの導入と共有 4点：安否確認システムのフロー決定 3点：安否確認体制のフロー検討 2点：安否確認システムの仕様決定 1点：安否確認システムの比較検討	1
					41-3	事業継続計画（BCP）の研修を実施する	教職員の研修参加率	5点：100%以上 4点：90%以上100%未満 3点：80%以上90%未満 2点：70%以上80%未満 1点：70%未満	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	3. スマートキャン パスに向けたキャン パス整備	①学生のニーズに あわせ、変化する 教育に適した新時 代のキャンパス整備 を実施	学長室（情 報）	42-1	学生部門と相談しつつ、オンライン申請可能なものを洗い出し、移行する。	洗い出された手続きのうち、オンラ イン申請に移行した割合	5点：80%以上 4点：60-80%未満 3点：40-60%未満 2点：20-40%未満 1点：20%未満	1
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	3. スマートキャン パスに向けたキャン パス整備	②全学的なDXの 推進	学長室	43-1	教職員が各自でデータ分析できる環境構築に向けた情報を収集する	他大学での事例、関連システム の情報公開数	5点：10件以上 4点：7～9件 3点：4～6件 2点：2～3件 1点：1件	1
					43-2	集計・分析できる人数が増えるように、IR研修の受講者数の増加。	IRに関する研修の受講人数	5点：5人以上 4点：4人 3点：3人 2点：2人 1点：1人以下	4
【Vision 4】 組織運営	●財政の安定化 及び組織基盤の強化	3. スマートキャン パスに向けたキャン パス整備	③SDGsに沿った 持続可能なキャン パス整備を通じて 自然保護を推進	総務課	44-1	SDGs13の目標に関して、温暖化を防ぐ観点から、教職員が協力し電気使用量を5%削減する。	電気代使用量削減率（2022 年度比）	5点：5%以上 4点：4% 3点：3% 2点：2% 1点：1%未満	5
					44-2	教職員に本学で実施可能なSDGsを募集し検討する。	募集件数	5点：5件以上 4点：4件 3点：3件 2点：2件 1点：2件未満	2